

派遣留学生帰国報告書

* 帰国（復学）後の情報を入力してください

記入日	2018/8/16
所属学部	融合理工学府創成工学専攻デザインコース
所属学科・専攻	創成工学専攻デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	L'École de design Nantes Atlantique / Köln International School of Design								
留学先所属学部等	Industrial Design / Integrated design								
留学期間	出発日	2017/9/21	入学日	2017/7/18	修了日	2018/7/12	帰国日	2018/8/1	
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート		<input type="radio"/> 民間アパート		<input type="radio"/> その他()				
	通学時間	40分				On campus			
	通学方法	電車・徒歩・バス							
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室		<input type="radio"/> () 人部屋		<input type="radio"/> その他()			
	共有スペース	<input type="radio"/> 完全個室		<input type="radio"/> キッチン		<input type="radio"/> トイレ		<input type="radio"/> バス	<input type="radio"/> リビング
食事	自炊	35 %	学食	%	外食	65 %	その他	() %	
保険	海外旅行保険(名称)	Step in							
	派遣先大学指定の保険(名称)	ACK					<input type="checkbox"/> 強制加入		
	その他								
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)								
	成田 ⇄ フランクフルト(飛行機) ⇄ ケルン(電車)								

2. 留学にかかった費用について

総費用	158万 円						
出どころ							
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円	
援助	<input type="radio"/> 両親	86万 円	家族・親戚	円	その他	円	
奨学金	<input type="radio"/> JASSO	72万 円	その他名称()	円			
その他	千葉大学助成金	円	その他()	円			

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	65,000	円	その他()	円
留学中		海外送金	<input type="radio"/>	キャッシング	<input type="radio"/>	その他(クレジットカード)

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	銀行振込
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	euro	1,000	140,000	円
海外旅行保険	euro	730	95,000	円
CSSMA	euro	150	20,000	円
査証・在留許可証	euro	60	78,000	円
住居	euro	4,454	580,000	円
食費	euro	150(月)	195,000	円
通学に要する交通費	euro	29.99(月)	39,000	円
教科書、教材費	euro	100	13,000	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他(旅費)			425,000	円
その他()				円
その他()				円
その他()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex. 正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無			
1 International Mentoring, Lectures, Tuesday Talks	正規	4ECTS		有	○	無
2 Workshop intro	正規	1		有	○	無
3 Intro Project for Internationals: Systems thinking	正規	3	○	有		無
4 Hyper Machines - Kinetic independency (IDS + PS)	正規	12	○	有		無
5 From unconscious to conscious	正規	3	○	有		無
6 Gute Stube AG	正規	2		有	○	無
7 German for designers 1	正規	1		有	○	無
8 The devil is in the detail	正規	2ECTS	○	有		無
9				有		無
10				有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

Nantesでは、コースごとに授業が決まっているため、コース選択が授業選択という形になる。留学で行く場合はそこに語学がたされ、時間割ができる。そのため、同じコースを取っている人とはほとんど同じカリキュラムである。またオプションで写真のとり方を学べる授業などを取ることができる。KISDでは、数多く用意された短期プロジェクト・長期プロジェクトから自分の好きなものを組み合わせて独自のプログラムを組むことができる。留学で行く場合は学びたい領域を決めることで自動的にカリキュラムを組んでくれるが相談し変更が可能。

3-2. 授業内容、方法に関して

ナントの授業内容は千葉大で2年生ぐらいまでにやるような基礎が詰まっていた。基礎をやり直したい、覚え直したい人にはいいかもしれないがなにか新しいことを学ぶのには少々不向きかもしれない。そしてフランス語が飛び交うこともしばしば。ケルンは自主的にやるのがメインでした。なので授業がなくなったりすることもありましたが、しっかり行っていけばセンセからのフィードバックも多くもらえるので良かったです。

3-3. 語学力について

私の語学力は高くはなく、英語を話して失敗することが嫌でためらいがちだったので最初はコミュニケーションを取るのも難しかった。しかし、次第に周りの会話を聞いたりしていくうちに自分も話せるようになっていった。語学力だけでは追いつけない部分や、理解できない部分は他の言葉に言い換えたり、ジェスチャーや絵などを使うことによってカバーすることができたと思う。

3-4. 図書館など学内施設について

Nantesではあまり学内施設を利用していないが、学食が学生数に対して小さい気がした。図書館などはきれいで快適そうだった。工房は担当の先生がいたが学期末になるとなかなか対応してもらうのが難しかった。普段は使いやすい。KISDは工房の充実具合がとても良かった。学食も2箇所あり行きやすかった。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

ナントでは学生寮に入りました。キッチンだけ各階(20部屋づつ)で共有でした。シャワートイレは部屋についていたので好きなときに入れてよかったです。部屋はとても狭かったのですが、半年だけなら全然我慢できる広さでした。日差しが差し込む部屋だったので、天気の良い日に日向ぼっこをするのがとても楽しかったです。Wifiは部屋についていたのですがとても弱くイライラする事が多かったです。ドイツは、友達が住んでいたところを入れ替えて借りることができたので、多くの人々が直面する部屋探しの難関に立ち向かわずに住んで良かったなあと思います。家賃は高くなりましたが、部屋も広くとてもきれいだったので、とても快適に過ごせました。ルームメイトもとても良い子と一緒に住めてよかったです。どちらの家もシャワーしかなく湯船に浸かることが好きな私には少し悲しかったです。

4-2. 食生活について

フランスでは、大勢での共有キッチンだったため時間帯によっては混雑していて段々とキッチンに行って料理するのが億劫になり、火を使わないもので済ますようになりました。それでも、トマトやヨーグルトなど好きなものを食べていたので苦ではなかったです。ドイツでは、キッチン用品からオーブンまで何でも揃っていたのでお菓子を作ったり、うどんチャレンジして楽しかったです。ポン酢や醤油の味付けはなかなかないので持っていくと良いかなと。あと、サランラップはMUSTで持っていくべきだと思います。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯のSIMはフランスのFREEというところのものを使った。1ヶ月に100GB(フランス国内)と25GB(EU圏内)を使い、19.99ユーロでとても安かった。Wifiは部屋についていたが弱いことが多かった。

4-4. 服装について

寒がりだったので、ヒートテックが手放せなかった。ヒートテックは持っていくべき。下着はたくさん持っていかないと洗濯ができなかったりするときに困る。そしてダメになるのも早い。夏は日本の夏より過ごしやすいからなんでも良い。雨の振り方が日本と違うので、ウォータープルーフタイプの上着が一枚あると超便利。

4-5. 健康管理について

日本にいるときよりも無理をすることがなくなったので、多少変な食生活でも元気に過ごせた。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

一度も使わずに済んだ。

4-7. 課外活動について

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

ナントでは他の大学に語学留学に来ている日本人や、その友達と知り合うことができ、ボーリングに行ったり、飲みに行ったりたくさん交流ができた。特に日本人の人たちは、ホームシックになりかけたときや言語が通じず心が折れそうになったときなどに、話を聞いてくれたり心の支えになった。日本人以外にも友達ができたのはうれしい。

4-9. 日本から持参してよかったもの

カメラ（写ルンです）、サランラップ、箸、ヒートテック、エアリズム、メイク道具、ポン酢

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ボディークリーム、味噌汁、

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと（習慣の違い、マナーなど）

基本距離感が近い。乗り物に乗るときに列になって待つという習慣がなく、自由。でも、困っている人がいたらすぐ助けてくれる、そして妊婦さんや赤ちゃんに対して寛大。外で過ごすのが大好き。寒くても暖房あるなら外でっていうぐらい好き。さらっとレディーファーストをする。日本人に対する距離のとり方と同じことをしていると仲良くなりにくい。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

イギリス 二泊三日 7万程度
 パリ 8日間 6万
 パリ 4日間 6万
 ポルトガル 二泊三日 5万
 Berlin 二泊三日 2万
 アムステルダム 一泊二日 2万
 ベルギー 一泊 1万5千
 パリディズニー 日帰り×3回 宿泊×2 13万

その他 *気分転換やストレス発散法など。

寝る、部屋で一人カラオケ、散歩、お酒を飲む、友人とスカイプ

5. その他

5-1. 留学先大学について

ナントは過ごしやすい街にあるので、都会に疲れを感じた人にはとてもおすすめ。ケルンはナントよりも近代的ではあるが川沿いなどでゆったりできるのでこちらもまたおすすめ。どちらの大学も英語のレベルや生徒のレベルが高いのでおすすめです。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

自分を追い込み過ぎずに行けばきっとハッピーライフに。笑顔でいればなんとかなる。

5-3. 留学を終えて

留学に行って何が変わったのかはわからないが、今までよりも視野が広がったと思う。日本基準で考えたり、自分基準でということが減った。また、今までよりも人助けをしようと思うようになった。香港に友達ができたので、これをきっかけに中国語にもチャレンジしていきたいと思った。